

議 長	事務局 長	係 長	係
			

令和 7 年 7 月 2 5 日

藤崎町議会議長

奈良 完治 殿

藤崎町議会議員（総務産業常任委員会）

石 澤 貴 幸  相 坂 清 志 

千 葉 孝 蔵  五十嵐 忍 

奈 良 完 治 

議員研修報告書

下記のとおり、議員研修を実施しましたので、ご報告いたします。

記

1. 研修目的 東日本大震災の復興状況や防災対策の取り組みなどについて
2. 研修場所
 - ①福島県相馬市
 - ・相馬市観光協会「相馬市復興視察ツアー」
 - ・相馬市役所
 - ②宮城県仙台市
 - ・NHK 仙台放送局「震災伝承施設」
 - ・震災遺構仙台市立荒浜小学校
3. 研修期間 令和 7 年 7 月 2 日（水）から 7 月 4 日（金）まで
4. 研修結果 別紙のとおり

〈研修報告書〉

去る、7月2日から4日にかけて、福島県相馬市及び宮城県仙台市に「東日本大震災の復興状況や防災対策の取り組みなどについて」行政視察を行いましたので報告いたします。

1日目の視察先は相馬市観光協会が運営する「東日本大震災 相馬市復興ツアー」です。死者数454人、行方不明者5人、1049棟が全壊した災害、なかでももっとも災害があったとされる尾浜地区と磯部地区では10メートルの津波に襲われ磯部地区だけでも251人の犠牲者があり、その中には避難救助にあたっていた消防団員10名も犠牲となり、この災害をきっかけに様々な対策の一つとして海岸から1.5km離れた国道沿いに長さ3.7km高さ7メートルの防波堤を築き、以前に家屋400棟ほどあった場所には、黒松を植え津波に備えていました。

2日目の午前、相馬市役所で「相馬市の災害対応」について、震災時の状況や避難所の状況などの説明を受けました。説明の中で、原発事故による原発風評被害で物流がストップしたことを受けて、「持って来ないなら取りに行く・・・道路さえあれば」ということで、トラック7台を借上げ「相馬市トラック部隊」を組織し、生活物資などを取りに行ったそうです。

備蓄に関しては災害当時の教訓を生かし、震災から2年後、消防団員待機場所も兼ねた300坪の備蓄倉庫「相馬兵糧蔵」を建築し布団や水、カレーや乾パンなどの食料品、ストーブなども数多く揃えていて、発電機などに関しては、緊急時に使えるように、1か月に1度の点検は欠かさないとのことでした。

また、震災後に建築した公的建物については、和風デザインで統一し判別できるようにしているそうです。

新たに発行した土砂災害ハザードマップも警戒レベルも1(早期注意情報)～5(緊急安全確保)まで分類し、そのレベルごとの行動内容まで記載されており、そのおかげで令和元年の台風19号被害、令和3年と4年の福島県沖地震の時もスムーズな対応をとれたそうです。

まだ改善点はあると言っていましたが、相馬市や住民の災害に対する自助・共助・公助にたいする意識の高さは、わが町も大いに見習い実行していくべきだと思いました。

2日目の午後は「NHK 仙台放送局」です。局の2階には東日本大震災のコーナーが設けられていて、各地の災害時の映像や写真パネルが展示されていました。そこでは、VRを装着し気仙沼市、東松島市、名取市、女川町など大きな被害を受けた地域の当時の状況や現在の状況などを選んで見ることができました。その一つ名取市の老人ホームの映像では、災害発生時エレベーターが止まり、車いすの方が2階に6名ほどいたのを2、3人で車いすごと1階に降ろし避難させたそうです。施設の中は荒れていて、現在も当時のままの状態が残っていました。

大きな災害があった時でも焦らずしっかりと優先順位をつけて行動できたからこそ、被害

者が出ずにすんだのだと思います。避難訓練などの大切さを改めて認識しました。

3日目の視察先は、「震災遺構仙台市立荒浜小学校」です。津波は震災発生後70分後に高さ13.7メートルの津波が小学校の2階ベランダ部分まで到達しました。この70分という時間があつたおかげで、児童や教職員、近くの住民たち320人が避難できたと言っていました。

浸水した1階部分は、ガラスが割れ時計が止まり、がれきと共に押し潰され流されてきた車が3台廊下にありました。2階部分はベランダの柵が折れ曲がり床上40cmまで浸水、天井には津波のしぶきをみる事もできました。

320名の避難者は3～4階部分で避難生活を送っていたそうです。校舎のまわりは浸水で逃げ場もなく、学校にあった毛布では足りなくなったため、カーテンを毛布代わりに寒さをしのいだそうです。

屋上が狭く、消防のヘリコプターや自衛隊のヘリコプターが降りられず、また1台のヘリコプターで運べる人数が3名だったため320名を救助するのに27時間を要しました。救助される順番は自然に決まったといい、小さい子供から順番に避難したそうです。これも地域住民の繋がりがあつたからこそ争わず、揉めることなく避難したのだと思います。小さな町だからこそその繋がりと連携がなければ避難にもっと時間を有していたのかもしれない。

今回の研修において感じたことは、津波はないが地震はある。防災意識を高めること、防災訓練の必要性和災害に起きた時に備蓄量が足りているのか。町と住民を守るためにも強く政策を打ち出していくべきだと思います。

以上、視察研修の報告と致します。

総務産業常任委員会

副委員長 相 坂 清 志

議 長	事務局長	係 長	係
			

令和7年6月11日

藤崎町議会

議長 奈良 完 治 殿

藤崎町議会議員（総務産業常任委員会）

石 澤 貴 幸

相 坂 清 志

千 葉 孝 蔵

五十嵐 忍

浅 利 直 志

奈 良 完 治

議員研修計画書

このことについて、下記のとおり実施計画書を提出します。

記

1. 期 日 令和7年7月2日（水）～ 令和7年7月4日（金）

2. 研修先 ①福島県相馬市

研修場所 相馬市観光協会「相馬市復興視察ツアー」
福島市役所

② 宮城県仙台市

研修場所 NHK 仙台放送局「震災伝承施設」
震災遺構仙台市立荒浜小学校

3. 研修目的 東日本大震災の復興状況や防災対策の取り組みなどについて

4. 代表者 石澤 貴幸



藤崎町議会 総務産業常任委員会 視察研修行程

1 日目 令和 7 年 7 月 2 日（水）

午前 6 時 4 0 分 川部駅集合

午前 6 時 4 6 分 川部駅出発

午前 6 時 4 5 分 北常盤駅集合

午前 6 時 5 0 分 北常盤駅出発

午後 1 時 3 0 分～

福島県相馬市 相馬市復興ツアー 参加

福島県相馬市内ホテル 宿泊

2 日目 令和 7 年 7 月 3 日（木）

午前 9 時 0 0 分 相馬市内ホテル 出発

午前 9 時 3 0 分～

福島県相馬市 相馬市役所 視察

午後 2 時 0 0 分～

宮城県仙台市 震災伝承施設（NHK 仙台放送局）見学

宮城県仙台市内ホテル 宿泊

3 日目 令和 7 年 7 月 4 日（金）

午前 8 時 1 5 分 仙台市内ホテル 出発

午前 9 時 3 0 分～

宮城県仙台市 震災遺構仙台市立荒浜小学校 視察（ガイド説明あり）

午後 6 時 0 1 分 北常盤駅着 帰町 現地解散

午後 6 時 0 5 分 川部駅着 帰町 現地解散